



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当 (氏名) 石川 千津

TEL 03-6810-7162

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	198,499	14.3	7,895	32.6	7,660	33.2	4,720	38.5
2020年3月期第2四半期	231,585	5.6	11,718	17.4	11,462	21.9	7,681	24.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 5,875百万円 ( 17.7%) 2020年3月期第2四半期 7,140百万円 ( 32.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	76.23	
2020年3月期第2四半期	124.04	

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	476,971	203,263	39.5
2020年3月期	470,004	201,198	39.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 188,580百万円 2020年3月期 186,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		4.00		5.00	9.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2021年3月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	415,000	10.9	18,000	26.9	17,000	27.6	10,000	33.8	161.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	61,993,750 株	2020年3月期	61,993,750 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	72,720 株	2020年3月期	72,576 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	61,921,113 株	2020年3月期2Q	61,921,573 株

(注)当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度期首に当該株式併合が実施されたものと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 将来に関する記述等についてのご注意  
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 当社は、2020年10月1日をもって、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の2021年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。
- 2021年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 6円50銭
  - 2021年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 16円15銭

## ○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により市民生活や企業活動の停滞を余儀なくされました。早期に経済活動を再開した中国や米国などで回復の動きがみられるものの、収束を見通せない状況下で先行き不透明感は継続しています。わが国においても、経済活動と感染拡大防止との両立により回復の動きがみられますが、予断を許さない状況が続いています。

当社グループにおきましては、テレワークの浸透や巣ごもり需要の増加などにより堅調に推移した分野もありましたが、自動車関連分野をはじめとして新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、売上高は前年同期を下回りました。また、採算面におきましても、原燃料価格の下落効果に加え、経費抑制などの緊急対策を実施いたしました。販売減少の影響が大きく、前年同期を下回りました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期の2,315億85百万円に比べ330億86百万円(14.3%)減の1,984億99百万円となり、営業利益は前年同期の117億18百万円から38億23百万円(32.6%)減の78億95百万円、経常利益は前年同期の114億62百万円から38億2百万円(33.2%)減の76億60百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の76億81百万円から29億61百万円(38.5%)減の47億20百万円となりました。

なお、当社グループでは、2020年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画で、①新商品・新ビジネスの創出、②成長に向けた資源投入、③経営基盤強化を基本方針とし、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図っております。

各セグメント別の概況は次のとおりです。

## 【アルミナ・化成品、地金】

アルミナ・化成品部門におきましては、主力の水酸化アルミニウム及びアルミナ関連製品で耐火物向けや自動車関連などの需要が減少しました。また、化学品関連でも凝集剤や無機塩化物の需要が減少したことにより、部門全体の売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野で自動車関連ビジネス全体が停滞した影響により、需要が国内、海外ともに大きく減少しました。中国や米国では回復の動きがみられるものの、販売量は前年同期を大きく下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の528億30百万円に比べ139億76百万円(26.5%)減の388億54百万円となり、営業利益は前年同期の62億97百万円から19億76百万円(31.4%)減の43億21百万円となりました。

## 【板、押出製品】

板製品部門におきましては、半導体・液晶製造装置向け厚板の販売量は前年同期を上回り、板加工製品はパソコン需要の増加により前年同期と比べ販売が増加したものの、自動車関連などの販売減少により、売上高は前年同期を下回りました。採算面では板加工製品の販売増によ

り、前年同期に比べ増益となりました。

押出製品部門におきましては、自動車関連及び建材関連での販売減少が大きかったことなどから、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の504億84百万円に比べ56億円(11.1%)減の448億84百万円となりましたが、営業利益は前年同期の11億88百万円から2億37百万円(19.9%)増の14億25百万円となりました。

#### 【加工製品、関連事業】

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業はトラック需要の減少の影響に加え、排ガス規制強化に伴う小型トラックの駆け込み需要が終了し反動減となった影響もあり、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期と比べ減益となりました。

パネルシステム部門におきましては、クリーンルーム分野では、5G（第5世代移動通信システム）関連などの電子部品工場向けや医療・医薬関連は堅調であったものの、冷凍・冷蔵分野で食品加工工場や低温流通倉庫の着工時期見直しなどもあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の831億74百万円に比べ96億18百万円(11.6%)減の735億56百万円、営業利益は前年同期の43億73百万円から17億36百万円(39.7%)減の26億37百万円となりました。

#### 【箔、粉末製品】

箔部門におきましては、リチウムイオン電池外装用箔や正極材用箔がパソコン需要増加などにより販売が増加し、日用品関連も巣ごもり需要により堅調に推移しましたが、コンデンサ用箔や医薬向け加工箔などの販売が減少した結果、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、粉末製品では電子材アルミパウダーはパソコン需要の増加により販売が増加しましたが、ペースト製品は主力の自動車塗料向けの販売が低迷したことから、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の450億97百万円に比べ38億92百万円(8.6%)減の412億5百万円、営業利益は前年同期の15億6百万円から4億27百万円(28.4%)減の10億79百万円となりました。

## (2)財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べて69億67百万円増の4,769億71百万円となりました。負債は、長期借入金増加などにより、前連結会計年度末と比べて49億2百万円増の2,737億8百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比べて20億65百万円増の2,032億63百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.6%から39.5%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは241億84百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの非資金損益項目が、法人税等の支払などによる支出を上回ったことによるものです。なお、営業活動によるキャッシュ・フロー収入は前年同期と比べ67百万円増加しておりますが、これは主に運転資金が減少したことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは127億9百万円の支出となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出によるものです。なお、投資活動によるキャッシュ・フロー支出は前年同期と比べ28億68百万円減少しておりますが、これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは104億5百万円の収入となりました。これは、主として長期借入れによる収入によるものです。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期の68億98百万円の支出に対し、当第2四半期連結累計期間は104億5百万円の収入となっておりますが、これは主に長期借入れによる収入が増加したことなどによるものです。

これらの結果、連結ベースの現金及び現金同等物については、前連結会計年度末に比べ217億53百万円(59.9%)増加の580億49百万円となりました。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績見通しの合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、連結業績予想を算定いたしました。

2021年3月期の通期連結業績予想及びセグメント別業績予想は次のとおりです。

## 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	415,000	18,000	17,000	10,000	161.50
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	465,946	24,607	23,475	7,476	120.73

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期の通期連結業績、及び2021年3月期の通期連結業績予想は以下のとおりとなります。

2020年3月期の通期連結業績	1株当たり当期純利益	12円07銭
2021年3月期の通期連結業績予想	1株当たり当期純利益	16円15銭

## セグメント別業績予想

(単位：億円)

セグメント	売上高(前期比)	営業利益(前期比)
アルミナ・化成品、地金	850 (△178 △17.3%)	90 (△19 △17.4%)
板、押出製品	920 (△92 △9.1%)	30 (△6 △15.6%)
加工製品、関連事業	1,540 (△190 △11.0%)	65 (△39 △37.7%)
箔、粉末製品	840 (△49 △5.6%)	25 (△6 △18.7%)
消去または全社	— — —	△30 (+4 —)
合計	4,150 (△509 △10.9%)	180 (△66 △26.9%)

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。



## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,349	58,102
受取手形及び売掛金	133,033	116,587
商品及び製品	28,513	28,177
仕掛品	19,309	18,977
原材料及び貯蔵品	18,788	18,056
その他	10,767	12,379
貸倒引当金	△385	△318
流動資産合計	246,374	251,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,514	56,575
機械装置及び運搬具（純額）	49,104	49,784
工具、器具及び備品（純額）	5,658	6,322
土地	54,587	54,586
建設仮勘定	8,894	7,742
有形固定資産合計	173,757	175,009
無形固定資産		
のれん	1,555	1,333
その他	4,312	4,700
無形固定資産合計	5,867	6,033
投資その他の資産		
その他	44,273	44,340
貸倒引当金	△267	△371
投資その他の資産合計	44,006	43,969
固定資産合計	223,630	225,011
資産合計	470,004	476,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,826	57,778
短期借入金	62,670	62,146
未払法人税等	2,654	3,455
その他	33,191	29,387
流動負債合計	162,341	152,766
固定負債		
社債	653	635
長期借入金	69,299	84,572
退職給付に係る負債	20,115	20,270
堆砂対策引当金	10,609	9,646
その他	5,789	5,819
固定負債合計	106,465	120,942
負債合計	268,806	273,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	18,983	18,992
利益剰余金	119,108	120,731
自己株式	△69	△70
株主資本合計	184,547	186,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,230	2,819
繰延ヘッジ損益	△120	4
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	1,084	933
退職給付に係る調整累計額	△1,611	△1,499
その他の包括利益累計額合計	1,728	2,402
非支配株主持分	14,923	14,683
純資産合計	201,198	203,263
負債純資産合計	470,004	476,971

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	231,585	198,499
売上原価	185,754	158,755
売上総利益	45,831	39,744
販売費及び一般管理費	34,113	31,849
営業利益	11,718	7,895
営業外収益		
その他	1,910	1,952
営業外収益合計	1,910	1,952
営業外費用		
支払利息	622	548
その他	1,544	1,639
営業外費用合計	2,166	2,187
経常利益	11,462	7,660
税金等調整前四半期純利益	11,462	7,660
法人税、住民税及び事業税	2,825	2,270
法人税等調整額	130	194
法人税等合計	2,955	2,464
四半期純利益	8,507	5,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	826	476
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,681	4,720

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8,507	5,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	620
繰延ヘッジ損益	△75	124
為替換算調整勘定	△1,048	50
退職給付に係る調整額	79	122
持分法適用会社に対する持分相当額	△340	△237
その他の包括利益合計	△1,367	679
四半期包括利益	7,140	5,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,533	5,394
非支配株主に係る四半期包括利益	607	481

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,462	7,660
減価償却費	9,193	9,268
のれん償却額	222	222
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△113	37
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	104	310
受取利息及び受取配当金	△216	△220
支払利息	622	547
売上債権の増減額 (△は増加)	19,128	16,206
たな卸資産の増減額 (△は増加)	435	1,403
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,420	△5,602
その他	△784	△2,718
小計	29,633	27,113
利息及び配当金の受取額	459	300
利息の支払額	△588	△548
法人税等の支払額	△5,387	△2,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,117	24,184
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,296	△12,575
その他	△281	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,577	△12,709
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,478	2,091
長期借入れによる収入	2,618	19,092
長期借入金の返済による支出	△7,762	△6,364
配当金の支払額	△3,114	△3,113
非支配株主への配当金の支払額	△692	△702
その他	△426	△599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,898	10,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331	△127
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,311	21,753
現金及び現金同等物の期首残高	33,345	36,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,656	58,049

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	52,830	50,484	83,174	45,097	231,585	—	231,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,516	11,885	6,311	221	36,933	△36,933	—
計	71,346	62,369	89,485	45,318	268,518	△36,933	231,585
セグメント利益	6,297	1,188	4,373	1,506	13,364	△1,646	11,718

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,646百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,854	44,884	73,556	41,205	198,499	—	198,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,693	10,557	5,617	199	30,066	△30,066	—
計	52,547	55,441	79,173	41,404	228,565	△30,066	198,499
セグメント利益	4,321	1,425	2,637	1,079	9,462	△1,567	7,895

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,567百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。